

林業団体と知事との懇談会結果

ー平成27年度森林・林業・木材産業活性化推進に関する提案・要望ー

日時：平成26年12月15日（月） 14:00～14:35

場所：県庁第1応接室

出席者：知事、林政部長、全国育樹祭推進事務局長、林政課長、恵みの森づくり推進課長、県産材流通課長、森林整備課長、治山課長

要望者：早川捷也岐阜県議会森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟会長

日置敏明（公社）岐阜県山林協会会長

矢口貢男岐阜県森林組合連合会会長

後藤直剛岐阜県木材協同組合連合会会長

中原丈夫（一社）岐阜県林業経営者協会会長

伊藤光邦（一社）岐阜県森林施業協会会長 ほか事務局

◆結果概要

日置山林協会会長から知事へ要望書が手渡され、県議のあいさつの後、各団体から要望項目を説明した。（別紙要望項目）

知事からは次のようなコメントがあった。

○要望全体について

これから予算要求作業に入るので、（要望のあった内容について）検討していきたい。また、いろいろご提言をいただいたので、行政の中で活かしていきたい。

○育樹祭について

育樹祭については、新たに岐阜モデルをつくるような気持ちで、後々も活かしていけるようなものを目指したいので、皆さん方にもよろしく願いたい。

○コンソーシアムの活用について

（いろいろ要望があった）作業道や架線の課題については、コンソーシアム（岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム）を設立したので、その体系の中で相互に連携をとりながら検討してもらい、それを行政が応援していくような流れをつくっていきたい。



○その他

11月の知事のドイツ訪問（ロッテンブルク林業単科大学と岐阜県立森林文化アカデミーとの覚書締結）後、林業関係者が視察したオーストリアの林業状況について知事から質問があった。

中原林業経営者協会会長が、オーストリア林業について、オーストリアは地形が日本と似ていて急峻。架線系の林業機械が発達し、岐阜県としても学ぶべき点が多い、と説明。

オーストリアとの連携はどうしたらよいかとの知事の質問もあった。

(別紙) 提案・要望項目

- 1 全国育樹祭開催を契機とした「清流の国ぎふ」づくりの推進
 - (1) 育樹祭開催に向けた県民運動の展開、県民参加の拡大
 - (2) 大会の精神を未来へ繋ぐための施策の充実
- 2 県土強靱化対策の推進
 - (1) 治山事業の推進
 - (2) 林道事業の推進
 - (3) 水源林における森林整備の推進
- 3 里山対策の充実
 - (1) 荒廃の著しい里山林（竹林）対策の促進
- 4 森林整備の推進
 - (1) 地球温暖化対策のために必要な森林整備に要する安定的な財源の確保
 - (2) 再造林の推進と次世代の造林用苗木の供給体制の確立
- 5 「強い林業・木材産業」構築のための施策の充実
 - (1) 森林整備加速化・林業再生基金事業の平成 27 年度以降の継続のため、国に対する働きかけの強化
 - (2) 全ての森林を対象とした集約化・境界確定事業の促進
 - (3) 作業道の整備促進
 - (4) 森林施業プランナーの育成と役割の明確化
- 6 全国育樹祭における木材利用促進
- 7 「木の国・ぎふ」の木材産業活性化の推進強化
 - (1) 地産地消による県産材等の木材加工体制の強化
 - (2) 東濃桧の素材生産体制の強化と需要拡大の推進
 - (3) 大型製材工場の県内進出に伴う既存県内製材工場への支援策の強化
- 8 多様な分野への県産材利用の促進
 - (1) 県産材を活用した住宅建設への支援の充実
 - (2) 公共建築物等への JAS 製材品の利用促進
- 9 ニホンジカ等有害鳥獣を適正な個体数とするための総合的対策の充実
 - (1) 被害状況や生息個体数、生息密度等、モニタリング調査方法の確立及び最適な捕獲数の検討
 - (2) 個体数調整のための集中捕獲の実施
 - (3) 専門知識・技術を有した有害鳥獣捕獲従事者の育成・確保
- 10 架線集材技術の普及・定着に対する支援
 - (1) 架線集材技術の開発と普及・定着に対する支援
 - (2) 小面積皆伐作業地における集材架線を活用した作業システムの開発・普及
- 11 再造林における低コスト技術・手法の開発